

大ケヤキ

学校だより〔第20号〕
平成28年9月5日発行
高田中学校長 野内 昭

学校保健会年間テーマ

『子どもとメディア』ロ

～メディアが子どもに

目や耳に与える影響

～

学校だより『大ケヤキ』第10号で、「(公財) 日本学校保健会」が年6回(奇数月)発行している『学校保健』という小冊子のことと、今年の年間テーマ(特集)が『子どもとメディア』であることをお知らせしました。その1では、「懸念される心や体に与える影響」と、「総論-電子映像メディアが子どもに及ぼす現状」の参考になる内容について連載しました。

今回そのロでは、「メディアが子どもにも目や耳に与える影響」についていろいろと警鐘を鳴らしていますので、それらを紹介し、皆さんと一緒にまた考えてみたいと思います。

メディアが子どもに与える影響

1 視機能への影響

長時間の近見作業や過度のゲーム、スマホなどのメディアとの接触により、視力などの視機能への影響(近視化、調節

障害(調節麻痺、調節緊張)、眼精疲労など)が大きな問題になっていることは、容易に想像できることだと思います。ここで、調節障害は眼科治療で治りますが、近視は治すことができないために、やはり予防が大切であると述べています。

2 裸眼視力低下者の増加

平成26年の総務省報告によりますと、「裸眼視力1.0未満の者」は幼稚園で26.0%、小学生30.2%、中学生53%、高校生では62.9%だそうです。既に2年経過していますので、さらに多くなっているのではないかと考えられます。

では、どのように対応したらよいのでしょうか。次のように述べています。

幼少時から携帯タイプのゲームやタブレット類の使用には特に注意が必要である。また中学生では、スマホの使用時間も増加し、近い距離で休みなく使用している姿を見かけることが多い。スマホなどメディアは、視機能だけでなく、適切な生活環境やコミュニケーションにも問題があるために使用方法には十分注意すべきである。

(中略)

一方、日常生活ではスポーツなど屋外活動(太陽の光を浴びる)を実施する、読書では30cm以上の距離を取り、30分経ったら目を休める、スマホなどメディア

アの使用法の配慮をすることは誰でも可能な予防方法であるので、積極的に実施していただきたい。

できることは積極的に取り組んで、目を大事にしたいものです。全ては、将来の自分自身のためです。…… (つづく)

英弁、県合唱頑張る!!

～夏休みの努力を賞賛!～

夏休みに入って本格的に練習してきた、特設英語弁論部と特設合唱部の(一つ目の)県大会が終わりました。

まず、両沼中学校英語弁論大会が、8月31日(水)、坂下中央公民館で開催されました。本校からは、暗唱の部に、1年佐々木悠月君、2年佐藤小雪さん、3年柴田南美さん、創作の部に、3年根本菜菜さんが出場しました。残念ながら入賞はなりませんでした。残念ながら入賞はなりませんが、4人とも壮行会での発表より大きな声で、表情豊かに表現することができました。

次に、県下中学校音楽祭(第一部合唱)が、次の日(9/1)に、矢吹町文化センターで行われました。耶麻・両沼合同音楽祭よりもさらに上手に発表できましたが、一昨年と同じ「銅賞」でした。

両部の皆さんの、夏休みの努力を褒め讃えます。ご苦労様でした。そして、ありがとう!今までの頑張りに自信を持って!!

いよいよ明日(6日) 全会津駅伝大会開催!

いよいよ明日(6日)は、全会津駅伝競走大会が、あいづ陸上競技場周回コースで行われます。選手の皆さん、悔いの残らない試合をしてきてください。健闘を期待します!!

明日は、次の選手が激走します。

- | | |
|-----------|---------|
| (男子) | (女子) |
| 1区 星 那宥君 | 木村 夏美さん |
| 2区 長谷川智里君 | 大竹 陽菜さん |
| 3区 福田勝太郎君 | 金子 未空さん |
| 4区 横山 大貴君 | 久家ひなのさん |
| 5区 阿部 隼君 | 林 飛香さん |
| 6区 長嶺 芽久君 | |

お詫びと訂正

7月20日付けでお配りしましたPTA会報『かがやき』第26号の4面(活躍の記録)に誤りがありましたのでお詫びし、次のように訂正いたします。

- ・両沼中体連陸上大会男子共通800M
- 3位 渡邊 拓篤 ↓ 渡邊 拓馬
- ・両沼中体連総合大会
- 卓球部女子オープンダブルス
- 3位 柴田 南美・長嶺 雛乃組

- 1位 柴田 南美・長嶺 雛乃組
- 女子2年シングルス
- 3位 渡部 玲奈 ↓ 渡部 怜奈